

## 「整会」2021年度第1回役員会 議事録

日時：2020年12月20日(日) 19:00～21:15

場所：リモート会議(Zoom)・・・初の試み

出席者：長谷川、飯田、亀村、山崎、本間、大向、馬場、葛城、中村、小倉 欠席者：なし

## 【報告事項】

1. 寄付金の状況
  - ・2021年度(12月20日現在)の寄付は85件で404,612円である。また、2016年度(2015年10月31日)から2021年度(12月20日現在)の5年間の寄付合計は445件で2,408,606円となった。(いずれも郵便局手数料を除いた額。)
2. 会員名簿の整理状況
  - ・会員名簿の整理作業を行い、古美術研究会在籍者記録(年度別在籍者・全在籍者一覧)を12月1日付で更新した。その後の変動も含め12月20日現在の在籍者総数は1,080名で物故者21名を除くと会員有資格者は1,059名となる。そのうち444名が連絡可能者である。
3. 古美術研究会の現状(古美研前総務部長小山さんからの報告による。)
  - ・コロナ禍の影響で春からキャンパスは閉鎖され今もリモート授業が続いているため、全く活動が出来ない状況である。
  - ・新入生勧誘も大学の「オンライン新入生歓迎」に頼るなどしているが入部希望者は0名である。
  - ・11月末に新役員が決定したが旧役員との引き継ぎも全く出来ておらず予定がたっていない。
  - ・2月に行っている追い出しコンパは立食形式でなくオンラインにて検討中ながら開催の決定に至っていない。
  - ・「整」56号は冊子でなく電子データで2021年2月頃の発刊予定である。
4. 校友会広報誌「あなたと青山学院」
  - ・33号(2020年11月)では“新型コロナウイルスの影響で中止になった行事など”を掲載した。
  - ・34号(2021年2月)については“機関誌を活用した会員名簿の整備を進めています”とした記事を掲載依頼中である。

## 【協議事項】

1. 2021年度事業計画
  - ・先ず「新型コロナ感染拡大状況を踏まえ、安心安全を最優先方針とする。」こととした。
  - ・事業方針「1. 会員相互の親睦活動」の具体的取り組みとして「古美研OBサロンの再開支援」と「機関誌“整”デジタル化の検討」を新たに加え、最終的に添付の内容とした。議論の概要は次の通り。
    - ①古美研OBサロンの再開支援
      - ・古美研OBサロンは整会の事業ではなくOB有志による運営だが、会員交流の貴重な場であることから、今後も連携を重視し積極的に再開へ向けた支援を行うこととした。
    - ②機関誌“整”デジタル化の検討
      - ・会員から“整”のデジタル化を望む提言があったこと等が検討の契機である。
      - ・“整”は現在55号に至るまで発刊され古美研創部以来55年間の歴史の象徴であり、長きに渡る活動の証で言わば古美研の宝でもあること、また紙媒体は将来的に散逸の恐れもあること等の議論を踏まえ、今後デジタル化実施の方向で費用、保管・活用方法など具体的な検討を進めることとした。
  - (参考) 2015年11月～2016年2月に計8冊をデジタル化した経緯があったので、その業者に残りの46冊(4,261頁)の見積もりを依頼し交渉した結果160,942円であった。

## 【その他】

1. OBサロン
  - ・「むつ新」に代わる候補店を役員協力を得て3つに絞り下見を実施して検討中である。“集まり易い立地”“リーズナブルな価格”“店側の融通性”を考慮して2月頃までには決定する予定。偶数月の5日(平日)18時からの開催日時も見直す予定である。(飯田副会長報告)
2. 白河(狛犬)・郡山市立美術館巡り
  - ・ホームページの記事を掲載しているように11月中旬に自家用車2台(有志6名)で当地を巡ってきた。今まで注視することの無かった狛犬は新鮮かつ魅力的で、美術館も立派な施設だった。「古美術を語ろう会」コースの候補として検討に値すると判断した。(亀村副会長報告)

以上

(文責 総務担当飯田)

次回役員会：2021年4月17日(土) 15:00～17:00 青学会館集会室

\*コロナ感染拡大が危惧される場合は、同日19:00～21:00のZoomによるリモート会議に変更する。